

立派な桜並木になってね

新川千本桜植栽事業の植樹式

市民のシンボル・新川の兩岸を桜並木にしようという新川千本桜植栽事業の植樹式が3月17日に行われました。10時からの式典を終えると、桜の里親になった人たちは、このところの暖かさで早くもつぼみがふくらみ始めた新川の桜を眺めながら、それぞれの桜に記念のプレートを掛けに行きました。里親になった理由は、結婚記念や成人記念、卒業記念など様々。プレートに刻まれたメッセージも「この桜に夢と希望を」「心の花を咲かせましょう」「共に生きた証に」など思いが感じられるものでした。今回植えられた桜は樹高約120センチメートルの1年苗で、宮内橋南側から八千代橋までの約3キロメートルの兩岸に500本。見ごろになるまでは10年ほど掛かるということです。早く立派な桜並木になるといいですね。



▲卒業記念にと里親になった大和田小の子どもたち